

食育体験プログラム実践マニュアル (Ⅳ―2)

プログラム名	2・3歳児食育教室 「おいしく食べておおきなあれ」		所要時間	50分（打合せを除く）	
目的	幼児期からの食生活の基本への理解促進として、体の中のしくみを知る				
対象	2・3歳児及びその家族		場所	幼稚園及び保育園等	
参加人数	クラス単位		教材等	エプロンシアター、絵本等	
スタッフ	食育担当者等				
事前準備	救急体制の確認・献立作成・試食材料発注・調理施設確認・参加者確認				
時間配分 (時刻(参考))	実施内容		担当	指導上の留意点等	
打合せ 30分 (10:00～10:30)	○打合せ		食育担当者	・事前にアレルギー履歴について聞き取り	
プログラム 10分 (10:30～10:40)	○アイスブレイク ○開会のあいさつ 参加者・スタッフ自己紹介		食育担当者 食育担当者	・指遊び等 	
20分 (10:40～11:00)	○食べ物が体の中で消化吸収され、排泄されるまでのしくみを知る。  		食育担当者	・エプロンシアターを活用 食育劇（例） ① 元気がないまーちゃん登場 ② 朝ごはんは、おにぎりを少ししか食べてこなかった ③ まーちゃんの元気を取り戻すために「4つのお皿のお話」を紹介 ④ 黄色・白色・赤色・緑色に分けられる食べ物にはどんなものがあるか紹介 ⑤元気のもとは、4つのお皿をそろえて食べること 出典：いなさこどもの森 「まーちゃんの4つのお皿」	
10分 (11:00～11:10)	○絵本の読み聞かせ		食育担当者	・絵本を読み聞かせ、食べ物について興味を持たせる。 	
10分 (11:10～11:20) (11:20)	○感想を発表 ○終了のあいさつ		食育担当者 食育担当者		